



なばき

みんな輝き、笑顔いっぱい
かしこい子 がんばる子 やさしい子 郷土を愛する子

令和6年度 学校評価結果について

学校評価の集計結果と考察について御報告いたします。

学校評価アンケートへの回答や貴重な御意見等を真摯に受け止め、改善できるよう学校全体で取り組んでいきたいと思ひます。評価の低かった項目については、見直しを図り、改善して参ります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたしします。

1 評価結果の表記について

(1) アンケートは4段階評価で実施

〈A:そう思う(はい) B:だいたいそう思う C:あまり思わない D:思わない(いいえ) 等〉

(2) 評価は、肯定的な回答(AとB)を合計した割合を、回答者全体を100として%で表記

2 評価結果と考察

(1) 教育活動について ※ () は職員

回答者	No.	質問内容	肯定的評価 (%)
保護者・職員※()	1	学校は、「かしこい子」「がんばる子」「やさしい子」「郷土を愛する子」を育てる場となっている。	93.5 ※ (92.9)
	2	学校は、教育方針や教育目標をわかりやすく家庭に伝えようとしている※(伝えるよう努めている)。	97.4 ※ (100.0)
	3	学校は、運動会や栽培活動等の学習をとおして、地域と連携して教育活動に取り組もうとしている※(取り組んでいる)。	90.9 ※ (92.9)
	4	子どもは、元気よく遊び、笑顔で楽しい学校生活を送っている※(支援している)。	90.9 ※ (100.0)
児童	5	白子町は好きですか。	92.1
	6	外や体育館で、元気よく運動しましたか。	86.8
	7	給食は残さずに食べられましたか。	68.4
	8	めあてを持って、毎日ががんばっていましたか。	86.0
職員	9	必要に応じて連絡帳や電話、家庭訪問で家庭と連絡を取るよう努めている。	100.0

保3: 昨年度に引き続き、白子ライオンズクラブの皆様に御協力いただき、落花生や玉ねぎの栽培を行いました。運動会では、白子町社会福祉協議会、南白亀地区の民生委員の皆様の御協力のもと、一人暮らし高齢者を招待するとともに、地域のみなさまに玉入れに参加していただき、一緒に白子音頭を踊ることができました。また、1月29日には、白子ライオンズクラブ、白子町更生保護女性会の皆様に講師として、昔遊び交流を行いました。今後も引き続き地域と連携し、子どもたちを育て参ります。

児7: メニューによっては、給食の残飯が多い日があります。引き続き食育指導に努めて参ります。

保4・児6: 「元気よく」の質問が、昨年度より低下しました。外遊びを奨励し、習慣化できるよう職員が声をかけ、一緒に外で遊ぶ等、今後も引き続き工夫して参ります。

(2) 学習について ※ () は職員

回答者	No.	質 問 内 容	肯定的評価 (%)
保護者・職員※ ()	10	学校は、熱心に学習指導をしている。	87.0
	11	学校は、ICT 機器などを活用し、学習活動がしやすい環境になっている ※ (学習環境の向上に努めている)。	90.9 ※ (100.0)
	12	子どもは、学習内容をよく理解している。	88.3
	13	子どもは、家庭学習の習慣が身についてきている。 ※ (「家庭学習の仕方」について指導し、習慣が身に付くように指導している。)	61.0 ※ (92.9)
	14	子どもは、よく読書をしている。 ※ (読書を奨励し、朝の読書タイムを有効に活用している。)	44.2 ※ (92.9)
児童	15	自分の考えを進んで発表しましたか。	76.3
	16	宿題や家庭学習をがんばりましたか。	87.7
	17	本をたくさんよみましたか【1週間に1冊】。	84.2
	18	体育の時間をがんばりましたか。	93.0
	19	授業はわかりやすかったですか。	88.6
職員	20	『思考し、表現する力を高める』実践モデルプログラムを活用して授業改善に努めている。	92.9
	21	主体的に課題に取り組む児童の育成に努めている。	100.0

令和6年度 南白亀小学校での学力向上に向けた取り組み

- ・町小中げんき君プランをもとにした学習習慣や学習規律の改善 ・ALTの配置
- ・「『思考し、表現する力を高める』実践モデルプログラム」の活用 ・朝の読み聞かせ
- ・ICTを活用した個に応じた指導の充実 ・「なばき小タイピング検定」 ・図書・辞書の購入
- ・「読書&はあとチャレンジ」による、話を聞くこと、読書の振り返り
- ・朝の全校読書活動「かがやきタイム」 ・「家庭学習の手引き」の配付 等

保・職 13・14、児 16 の結果から、家庭学習や読書活動の習慣について、職員と保護者・児童の認識に大きな差があることがわかりました。学校では、家庭学習の充実のために、子どもたちの意識を高めるとともに、「家庭学習の手引き」の活用を図ります。家庭学習・読書の習慣化には、保護者の皆様による、家庭での協力がなくてはなりません。家庭学習・読書の時間と環境を確保し、習慣化できるように、引き続き声掛けや見守りをお願い致します。保護者・児童・職員が習慣化できていると実感できるように、今後工夫をしていきたいと思ひます。

そのために、引き続き毎週木曜日の放課後は、学力向上に向けた職員研修を実施し、子どもたちの課題と授業の改善点を分析します。そして、子どもたちが「わかった、できた」と、学ぶ楽しさを味わえる授業改善や学習習慣の定着化に努めて参ります。

(3) いじめ対応について

回答者	No.	質 問 内 容	肯定的評価 (%)
保護者	22	学校は、いじめ防止に積極的に取り組んでいる。	84.4
	23	学校は、必要に応じて連絡帳や電話、家庭訪問で家庭と連絡をとっている。	92.2
	24	学校や先生は、子どもや保護者が相談しやすい雰囲気である。	88.2
	25	子どもは、思いやりの気持ちを持ち、良い友達関係を作っている。	84.4
児童	26	友達みんなにやさしくできましたか。	94.7
	27	悪口を言ったり、書いたりしませんでしたか。	92.1
	28	いろいろなことで、先生は相談にのってくれましたか。	86.8
職員	29	児童理解に努め、保護者と連携していじめ問題に対応している。	92.9
	30	児童や保護者からの相談には、親身になり対応するように努めている。	100.0

学校では、今年度、次のことを実施し、いじめの早期発見、早期解決に努めてきました。

・年に3回「お話ししよう週間(担任と児童と面談)」 ・年5回のアンケート調査 ・電話・ライン・メール・郵送等の各相談窓口の周知 ・「読書&はあとチャレンジ」による「友達関係」の振り返り ・外部関連機関との連携 ・職員によるいじめ対策委員会での共通理解と対応(毎月かつ随時) 等	・S Cによる全校カウンセリング ・S O S の出し方教育
---	---

保 22、24、25、児童 28 は、肯定的評価が9割を下回る結果となりました。上記の取り組みを継続していくとともに、児童にとってより相談しやすい環境づくりに努めて参ります。

肯定的割合が多くても、全ての児童が安心して登校し、友達と仲良く過ごすことができるよう、対応策については見直しを図っていきます。今後も保護者の皆様と連携しながら、いじめの未然防止、早期発見、早期解決、豊かな人間関係の構築に努めて参ります。引き続き御協力をお願いします。

(4) 生徒指導について

回答	No.	質 問 内 容	肯定的評価 (%)
保護者	31	学校は、子どもの良さや努力を認めてくれている。	85.7
	32	学校は、子どもの間違った行動に対して、適切な指導をしている。	85.7
	33	子どもは、気持ちの良いあいさつをしている。	75.3
	34	子どもは、基本的な生活習慣が身についており、きまりを守って生活している。	75.3
児童	35	元気よく相手を見てあいさつができましたか。	90.4
	36	掃除はまじめにやりましたか。	94.7
	37	チャイムがなったらすぐ席に着けましたか。	86.8
	38	ろう下をしずかに走らず歩けましたか。	78.1
	39	学校の行き帰りに、帽子をきちんとかぶれましたか。	96.5
職員	40	児童が良い事をした時や努力した点を見つけ、認めるように努めている。	100.0
	41	児童の間違った行動を見逃さず、適切な指導をするように努めている。	100.0
	42	児童が気持ちのよいあいさつができるように指導している。	92.9
	43	「白子町小中げんき君プラン」を用い、基本的な生活習慣が身に付くよう指導に努めている（清掃指導含む）。	92.9
	44	「思いやり」「協力」等の、温かい人間関係が育つように指導している。	92.9

令和6年度 南白亀小学校で取り組み

・毎月、職員による生徒指導委員会を設け、個々の児童についての現状の共有、意見交換、対策の協議 ・「読書&はあとチャレンジ」によるあいさつの振り返り ・児童会による毎月の目標設定と振り返り

保 33、34 のあいさつ、生活習慣・きまり、児 38 ろうか歩行の質問では、8割を下回りました。

また、保 31、32 から、職員の指導の在り方の評価が9割を下回りました。

個々の生活の乱れは心の乱れであり、学校全体の生徒指導上の問題に直結していきます。子どもたちには、基本的な生活習慣が身に付くよう、意識を高める指導の在り方を工夫し、今後も粘り強く、繰り返し指導を重ねて参ります。

合わせて、「ほめて、伸ばす」「間違った行動は見逃さず注意する」ことに留意しながら生徒指導を進めて参ります。

(5) 安全指導について

回答	No.	質 問 内 容	肯定的評価 (%)
保護者	45	学校は、子どもの健康や安全のために気を配り、適切な対応をしている（避難訓練、連絡メール配信等）。	96.1
	46	子どもは、安全に関心を持ち、交通事故に遭わないよう行動している。	89.6
	47	子どもは、地震・津波発生時の行動の仕方について、身についてきている。	92.2
児童	48	行き帰りに、車に注意して歩けましたか。	97.4
	49	地震が起こったとき、どうしたらよいかわかりますか。	96.5
職員	50	安心して生活できるよう、適切な指導をしている（事前事後指導、安全点検、アレルギー対応、登下校指導等）。	100.0
	51	交通事故にあわないよう、学活や朝・帰りの会で、安全指導に努めている。	92.9
	52	避難訓練を通して、避難の仕方や自分の命を自分で守る意識を持てるような指導に努めている。	100.0

今年度も昨年度に引き続き、首都圏防災士連絡会との防災学習、交通安全教室等を実施してきました。一方、保 46 では、交通安全に関わる評価が9割を下回りました。登下校の仕方については、繰り返し指導し、危険な行為があった場合は、学校でも指導していきたいと思います。

南海トラフ地震等の大地震発生が危惧されています。南白亀地区では、津波被害の可能性があること、命を守る安全対策の重大さを確認していきます。今後も引き続き、子どもたちの安心、安全のため、学校生活のあらゆる場面で指導を継続して参ります。

(6) 学校関係者評価委員の皆様より (質疑応答)

- ・日頃、学校内を見ることがないので、わからないことが多い。
- ・児童の廊下歩行の評価が低いが、どうしてか。

→ほとんどの児童は走らず歩行できているが、中には走ってしまう児童もいる。「しずかに歩いているのか」について自己評価させると、評価としては下がる。継続的に指導していく。

- ・給食を食べる時間は確保できているか。

→無理に食べさせることはできないが、時間をしっかり確保している。

→来年度は、食べ物の大切さ、調理員さんの工夫や苦労を学ぶために、給食センター見学を実施していきたい。

- ・児童は、挨拶を元気よくしてくれている。

- ・自転車の「とまれ」の標識で止まっていない。放課後の気の緩みもある。車の影など気を付けると良い。

- ・交通安全指導はどのようにやっているか

→毎年5月までに、交番の警察官の協力を仰ぎながら交通安全教室を行っている。標識を守り、死角に入らないよう、指導していく。

- ・日頃、登下校時に合うと元気よく児童が挨拶しているが、保護者の挨拶の評価が低いのはなぜか。

→家庭での挨拶の様子と、家庭外での挨拶の実態に差があると考え。家庭では、元気よく挨拶できないが、家庭外ではしっかりできる児童も多い。どの場面でも挨拶できるよう指導していく。

- ・横断歩道の渡り方や、渡った後の会釈はしっかりできている。自転車も降りて横断歩道が渡れている。

- ・見かけたら注意しているが、自転車を乗りながらスマホを見ている児童がいる。

→ながらスマホは、ルール違反ということを伝え、指導していく。